

各位

会社名 ピープル株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕真人
 (東証 JASDAQ コード 7865)
 問合せ先 IR 担当 飛田留美子
 電話 03-3862-2768

2021年1月期第1四半期連結累計期間業績予想の修正に関するお知らせ

2020年3月3日付当社「2020年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました2021年1月期第1四半期連結累計期間(2020年1月21日～2020年4月20日)の業績予想について、下記のとおり修正いたします。

記

1. 2021年1月期 第1四半期連結累計期間業績予想の修正等(2020年1月21日～2020年4月20日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当四半期純利益	1株当たり 当四半期純利益
前回予想(A) (2020年3月3日発表)	770	34	34	22	円銭 4.96
今回修正(B)	814	12	5	4	0.93
増減額(B-A)	44	△22	△29	△18	
増減率	5.7%	△65.8%	△85.2%	△81.2%	
(ご参考)前期第1四半期実績 (2020年1月期第1四半期)	770	36	36	23	5.21

2. 修正の理由について

当44期の第1四半期では、国内販売では新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により、当社商品取扱い先である量販店や百貨店等の店舗休業や、中国製造拠点での工場再稼働後の製造数等に影響を受け、新商品発売の延期や既存品の供給遅延等を余儀なくされました。そのような中でも、国内販売では室内遊びの大型遊具や自転車のネット販売が好調で、主に消費の落ち込みを支えました。また、海外販売では取引先からの注文に応じた商品供給をすることができました。その結果、売上高は海外販売を主体に当初予想を若干上回る見通しとなりました。

しかし、当期間の売上の多くを占めた商品は、国内販売、海外販売ともに原価率の高い商品であったため、前年比較において大幅な原価増となりました。それが主要因となり、営業利益では当初予想比65.8%減、経常利益では予想比85.2%減、親会社株主に帰属する当四半期純利益は予想比81.2%減となる見通しとなりました。

(注)「2021年1月期 第1四半期決算短信(連結)」は2020年6月30日に開示を予定しております。

以上